

日中韓三国間の観光交流と協力の強化に関する北海道宣言

1. 我々、日本国、中華人民共和国及び大韓民国の観光大臣は、2006年7月、記念すべき第1回日中韓観光大臣会合の機会に、それぞれの国の官民の観光関係者の代表とともに日本国の北海道を訪れ、阿寒、知床、旭川、層雲峡、富良野、札幌といった日本国を代表する観光地を実地に視察する機会に恵まれた。
2. 我々は、これらの地域の有する観光資源の魅力を実感するとともに、地域の人々の熱烈な歓迎を受け、これらの地域の観光地としてのさらなる成長の可能性を確信し、あわせて人々のホスピタリティが観光に果たす役割の重要性について改めて認識した。我々は、ここに、今回の一連の行事に対する地元における周到な準備と心からの歓待に感謝の意を表す。
3. 我々は、三国間の観光交流と協力を一層強化し、三国間の人的交流を拡大し、地域の経済の繁栄と社会の発展を促進するため、2006年7月2日に北海道釧路市阿寒町で第1回日中韓観光大臣会合を開催した。会合では、観光の発展において三国が関心を寄せる問題について広範な議論が行われた。
4. 我々は、友好的な精神と協議一致の原則に則り、相互の文化と伝統を尊重しつつ、重要なパートナーとして協力を強化し、友好を増進し、良好な環境を作り出し、地域及び世界の観光発展のために貢献したいと考えている。
5. 我々は、21世紀における東アジア大交流時代の到来にあたり、深い議論を経て、以下に掲げる共通の認識をとりまとめ、これを今後の三国の観光交流と協力の基本的枠組みとすることとした。
6. 我々は、観光が人々に幸福をもたらすのみならず、平和の使者、友好の懸け橋として国際相互理解と国際友好親善を増進し、観光客を受け入れる国と地域に経済的利益をもたらし、国民の間の交流を強化し、人類の文化遺産の発展・活用と維持に貢献し、持続可能な社会の発展の要素となるといった多面的な意義を有するとの認識で一致した。
7. 我々は、三国が地理的に近接し、歴史・文化に多くの共通点を有しているのみならず、近年、三国の間で経済をはじめとする各分野における結びつきが急速に強まっており、三国間関係をあらゆる面で一層強化していくことが東アジア

ア全体の平和、安定及び繁栄に重要であるとの認識を共有する。

8. よって、我々は、三国の国民の間の相互理解の促進がますます重要となっており、三国の観光分野における未来志向の協力の強化を通じ、三国の国民の間の相互理解及び友好を増進し、三国間の人的交流を拡大していくことが、三国の観光行政の責任者である我々に課せられた責務であると考える。
9. 我々は、文化、教育・人材育成・研究、スポーツ、姉妹・友好都市提携を始めとする地方自治体間の協力といった様々な分野における三国間の交流や協力と、観光分野における三国間の交流や協力の取組みが連携して行われることが、三国間の人的交流の増加と三国間関係の着実な発展のために有益であることを確信する。
10. 我々は、業界間の交流と協力を奨励し、相手側の国が自国を訪れて市場開拓及び販売促進を行うことに対し便宜を提供する。
11. 我々は、それぞれの政府が、海外観光客の出入国等に関する便宜の提供を推進するよう尽力する。
12. 我々は、観光情報、観光教育訓練等の面において交流と協力を強化することに同意する。
13. 我々は、三国が世界の中で最も活発な観光交流の拡大が見込まれるアジア太平洋地域の中核であり、三国の観光分野における協力の強化を通じ、三国外と三国との間の人的交流を拡大することが重要であるとの認識を共有する。
14. 我々は、三国の国民が三国外に観光に出掛けることを奨励し、またその他の国の観光客が三国に観光を訪れることを歓迎する。
15. 我々は、三国外から訪れる観光客に対して、質的に優れたサービスを提供するとともに、三国内においてまごころある観光サービスを展開する。
16. 我々は、観光交流を拡大する上で三国がそれぞれ抱える制約要因や、さらなる交流拡大のための方策について持続的に対話し、意見を交換し、協力して検討や改善を図っていくことが、三国の観光の発展のために有効であることを

確信する。

17. 以上を踏まえ、我々は、協力して、「日中韓観光ビッグバン（日中韓域内外観光交流拡大計画）」の名の下に、以下の分野に特に精力的に取り組むこととした。「日中韓観光ビッグバン」の当面の取組みは別紙のとおりとする。

- (1) 三国間又は三国外と三国との間の観光交流拡大の制約要因の改善と、さらなる交流拡大方策の検討についての相互協力。
- (2) 三国の連携した観光協力の取組みを促進し、及びその成果を共有するための、多国間協力や地域協力の枠組みの一層の活用。
- (3) 教育旅行を始めとする青少年交流、文化・スポーツ交流、観光研究分野における協力、姉妹・友好都市提携やその他の方法による地方自治体間の協力の活用、観光資源の開発に係る協力など、さまざまな手法による三国間の観光交流の拡大。
- (4) 三国共同での観光宣伝や旅行商品の造成など、三国外から三国への観光の拡大を図るための共同の取組み。

18. 我々は、「日中韓観光ビッグバン」を通じ、三国間の国際観光交流の規模を、2005年の約1200万人から、2010年に1700万人以上に増加させることを目標とする。この目標は、交流の状況を踏まえて適宜見直されるものとする。

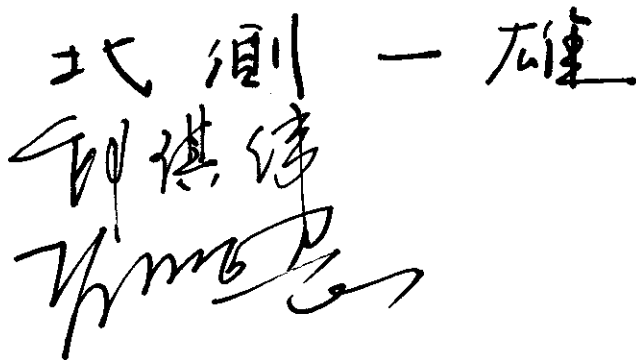
19. 我々は、三国の連携した取組みの一環として、日中韓観光大臣会合を毎年夏に三国の持ち回りで開催する。三国の観光当局は、定期的で開催されるASEAN+3観光大臣会合の機会に、日中韓観光大臣会合の準備のため、協議を行う。

2006年7月2日、日本国北海道釧路市阿寒町において、等しく正文である日本語、中国語及び韓国語で各一通署名した。

日本国国土交通大臣・観光立国担当大臣

中華人民共和国国家旅游局長

大韓民国文化観光部長官



北 洞 一 石 雄
胡 琪 偉
李 相 忠

「日中韓観光ビッグバン」における当面の取組み

1. 三国は、三国間又は三国外と三国との間の観光交流拡大の制約要因の改善と、さらなる交流拡大方策の検討についての相互協力を促進する。

(1) 三国は、三国がそれぞれ抱える三国間又は三国外と三国との間の観光交流を拡大する上での制約要因を相互に点検し、セキュリティ・アメニティの確保、観光資源の保護、人材確保、航空路線網の拡充、査証等といったさらなる交流拡大のためにとりうる方策について、次回以降の日中韓観光大臣会合などの場において相互に意見を交換し、協力して検討や改善を図る。

(2) 三国は、三国外及び三国からの観光客に良質なサービスを提供するための方策を検討するため、実質的な協力を強化する。

<具体的取組み>

・日中韓観光フォーラム（2006年12月 韓国・済州）

2. 三国は、三国の連携した観光協力の取組みを促進し、及びその成果を共有するため、多国間協力や地域協力の枠組みの一層の活用を推進する。

三国は、世界観光機関（UNWTO）、ASEAN+3、アジア太平洋経済協力（APEC）といった多国間協力や地域協力の枠組みを一層活用し、教育旅行を始めとする青少年交流、文化・スポーツ交流、観光研究分野における交流、姉妹・友好都市提携やその他の方法による地方自治体間の協力の活用、観光資源の開発に係る協力など、三国の連携した観光協力の取組みの重要性と成果を他国にも積極的に訴える。

<具体的取組み>

・2006年5月に日本・静岡で開催された第28回APEC観光作業部会の成果である「青少年交流・姉妹都市交流についてのAPEC静岡声明」を踏まえ、2006年10月にベトナム・ホイアンで開催される第4回APEC観光大臣会合の場において、青少年交流及び姉妹・友好都市交流の促進についてAPECメンバーの合意を得るよう努める。

3. 三国は、教育旅行を始めとする青少年交流、文化・スポーツ交流、観光研究分野における協力、姉妹・友好都市提携やその他の方法による地方自治体間の協力の活用、観光資源の開発に係る協力など、さまざまな手法による三国間の観光交流の拡大を図る。

このため、特に以下の点について、具体的な取組みを推進する。なお、三国が推進する具体的な取組みは、以下に限られるものではない。

(1) 三国は、教育旅行を始めとする青少年交流、文化・スポーツ交流、姉妹・友好都市提携やその他の方法による地方自治体間の協力を活用した観光交流の促進に取り組む。

<具体的取組み>

- ・ 姉妹友好都市交流シンポジウム（2006年7月 日本・旭川）
- ・ 文化エキスポ（2006年7月～2007年3月 韓国・済州）
- ・ 日中韓伝統芸能イベント（2006年9月 日本・札幌）
- ・ 日中韓観光交流拡大四国フォーラム（2006年11月 日本・四国）
- ・ 日中韓青少年修学旅行シンポジウム（2006年12月 中国・江蘇省）
- ・ 姉妹都市交流活性化シンポジウム（2006年後半 韓国・ソウル）
- ・ ソウル国際マンガ・アニメフェスティバル（2007年5月 韓国・ソウル）
- ・ 中国山東世界友好都市観光大会（2007年10月 中国・済南）

(2) 三国は、三国内の他の二国を周遊する旅行商品の造成に取り組む。域内クルーズ観光の活性化のために、定期的にクルーズに関する情報交換、政策の調整、共同マーケティングの方策等を協議する。

<具体的取組み>

- ・ 長崎、上海、済州を周遊するクルーズ（2006年7月運航開始）を活用した観光交流拡大

(3) 三国は、三国間の観光交流拡大を図るためのイベントを開催するとともに、大規模なスポーツイベント、博覧会等に積極的に誘客を図る。三国は各国で開催される重要な観光イベントに積極的に参加し、開催国は相手国の参加者を歓迎する。

<具体的取組み>

- ・ アジア観光ビッグバン・カウントダウンイベント（2006年8月 日本・大阪）

- ・中国国際旅游交易会（CITM）における日中韓大規模ビジネスフォーラム（2006年11月 中国・上海）
- ・世界青少年サッカー選手権大会（2007年5月 韓国・ソウルほか）
- ・世界陸上選手権大会（2007年8月 日本・大阪）
- ・北京オリンピック（2008年 中国・北京）
- ・上海万博（2010年 中国・上海）

（4）三国は、三国内の観光資源の開発を促進するため、三国の観光開発に関する情報交換、投資説明会の開催と出席等、観光分野における相互の直接投資の拡大について協力する。

＜具体的取組み＞

- ・国際観光投資説明会及びフォーラム（2006年11月 韓国・ソウル）

4. 三国は、三国共同での観光宣伝や旅行商品の造成など、三国外から三国への観光の拡大を図るための共同の取組みを促進する。

このため、特に以下の点について、具体的な取組みを推進する。

- （1）三国は、三国外における旅行博覧会において三国が連携した展示を行う等、共同観光プロモーションを実施する。
- （2）三国は、北米等三国外からのクルーズ観光の共同誘致等、三国外から三国内ないし二国を訪問・周遊するツアーの造成・販売について協力を進める。
- （3）三国は、欧米等三国外からのMICE（国際会議、国際文化・スポーツイベント、国際展示会・見本市等）市場の拡大を進める。
- （4）三国は、共同事業の推進を円滑に行うために、観光情報の交換及び観光教育などの分野で協力を強化する。

＜具体的取組み＞

- ・アジア欧州会合（ASEM）観光業発展フォーラム（2006年10月 中国・烟台）
- ・クルーズ・コンベンションへの三国共同出展（2007年3月 米国・マイアミ）